

移動能

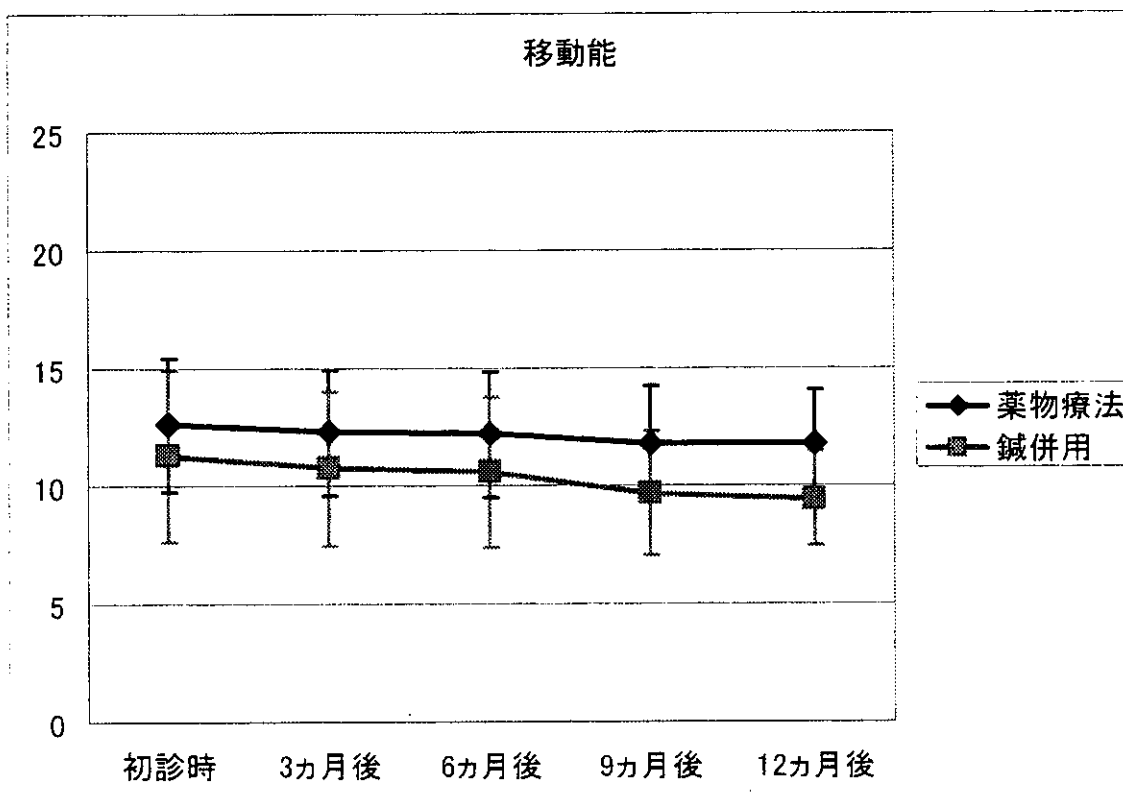
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	670.327	670.327	28.785	<.0001	28.785	1.000
対象(群)	168	3912.338	23.288				
カテゴリー 経過	4	210.216	52.554	12.653	<.0001	50.612	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	30.239	7.560	1.820	.1232	7.280	.548
カテゴリー 経過 * 対象(群)	672	2791.114	4.153				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	12.600	2.818	.315
薬物療法, 三ヵ月後	80	12.262	2.690	.301
薬物療法, 六ヵ月後	80	12.163	2.693	.301
薬物療法, 九ヵ月後	80	11.750	2.462	.275
薬物療法, 十二ヵ月後	80	11.788	2.315	.259
鍼併用, 開始時	90	11.267	3.650	.385
鍼併用, 三ヵ月後	90	10.744	3.279	.346
鍼併用, 六ヵ月後	90	10.556	3.212	.339
鍼併用, 九ヵ月後	90	9.656	2.614	.276
鍼併用, 十二ヵ月後	90	9.444	2.012	.212



資料 28

歩行能

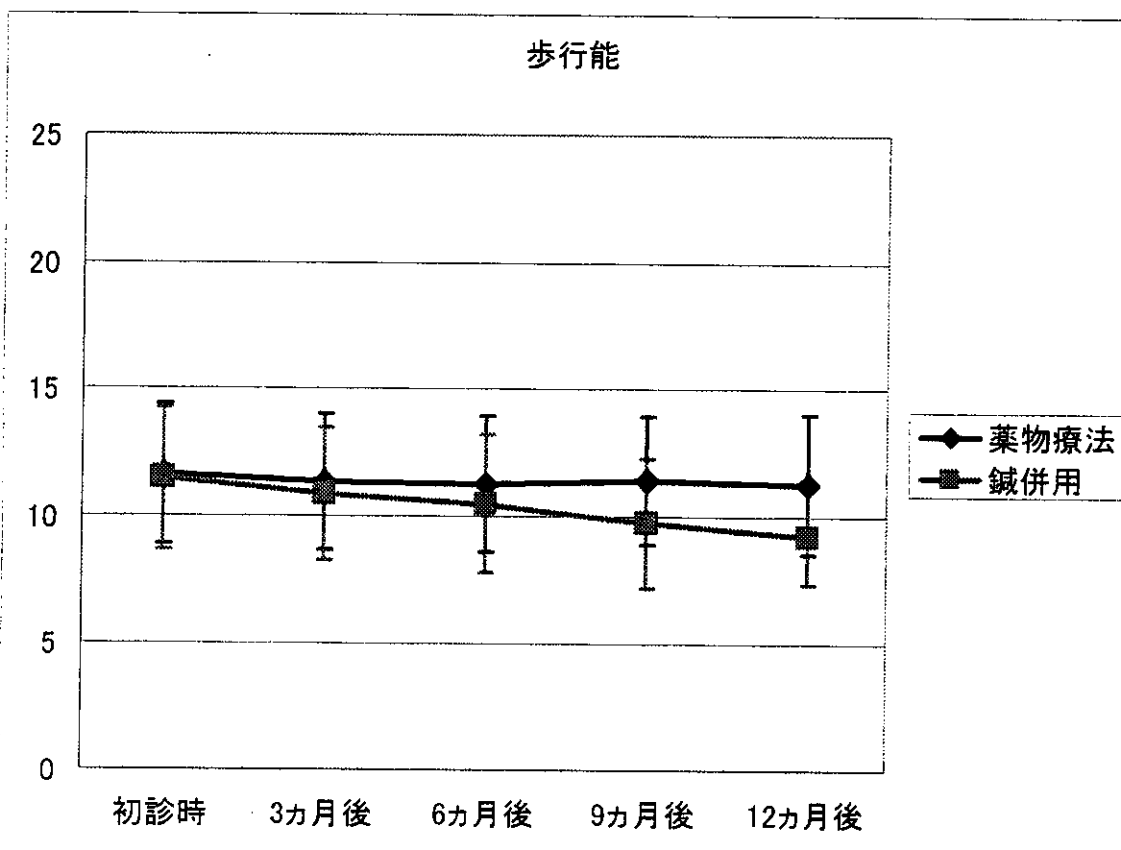
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	218.882	218.882	11.632	.0008	11.632	.943
対象(群)	168	3161.260	18.817				
カテゴリー 経過	4	171.202	42.801	11.188	<.0001	44.750	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	104.553	26.138	6.832	<.0001	27.329	.997
カテゴリー 経過 * 対象(群)	672	2570.887	3.826				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	11.650	2.766	.309
薬物療法, 三ヵ月後	80	11.313	2.679	.300
薬物療法, 六ヵ月後	80	11.262	2.685	.300
薬物療法, 九ヵ月後	80	11.375	2.508	.280
薬物療法, 十二ヵ月後	80	11.250	2.767	.309
鍼併用, 開始時	90	11.444	2.821	.297
鍼併用, 三ヵ月後	90	10.878	2.587	.273
鍼併用, 六ヵ月後	90	10.489	2.745	.289
鍼併用, 九ヵ月後	90	9.733	2.565	.270
鍼併用, 十二ヵ月後	90	9.222	1.924	.203



資料 29

手指機能

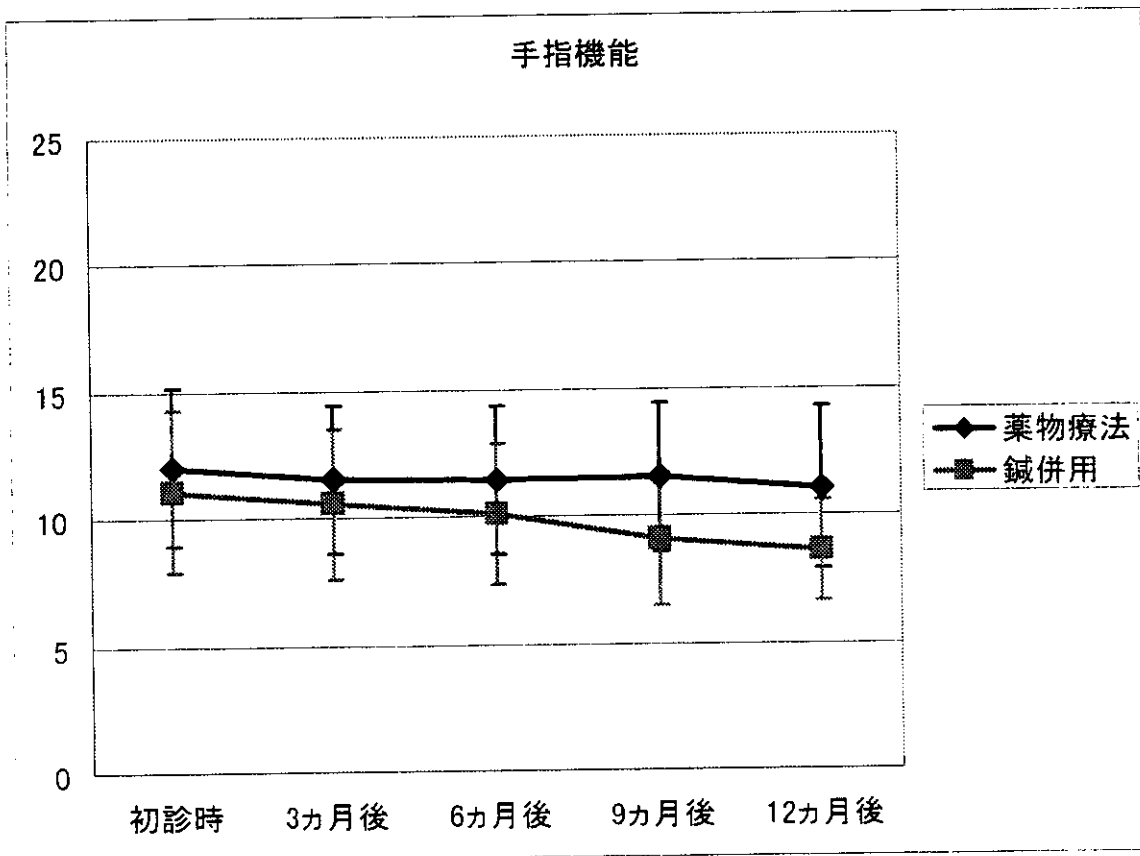
分散分析表：経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	558.809	558.809	24.533	<.0001	24.533	1.000
対象(群)	168	3826.631	22.778				
カテゴリー 経過	4	293.986	73.496	15.898	<.0001	63.594	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	97.962	24.491	5.298	.0003	21.191	.979
カテゴリー 経過 * 対象(群)	672	3106.574	4.623				

基本統計量：経過

効果：カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	12.012	3.104	.347
薬物療法, 三ヵ月後	80	11.512	2.951	.330
薬物療法, 六ヵ月後	80	11.413	2.924	.327
薬物療法, 九ヵ月後	80	11.500	2.942	.329
薬物療法, 十二ヵ月後	80	11.063	3.211	.359
鍼併用, 開始時	90	11.067	3.200	.337
鍼併用, 三ヵ月後	90	10.533	2.927	.309
鍼併用, 六ヵ月後	90	10.100	2.772	.292
鍼併用, 九ヵ月後	90	9.078	2.584	.272
鍼併用, 十二ヵ月後	90	8.600	2.004	.211



資料 30

上肢機能

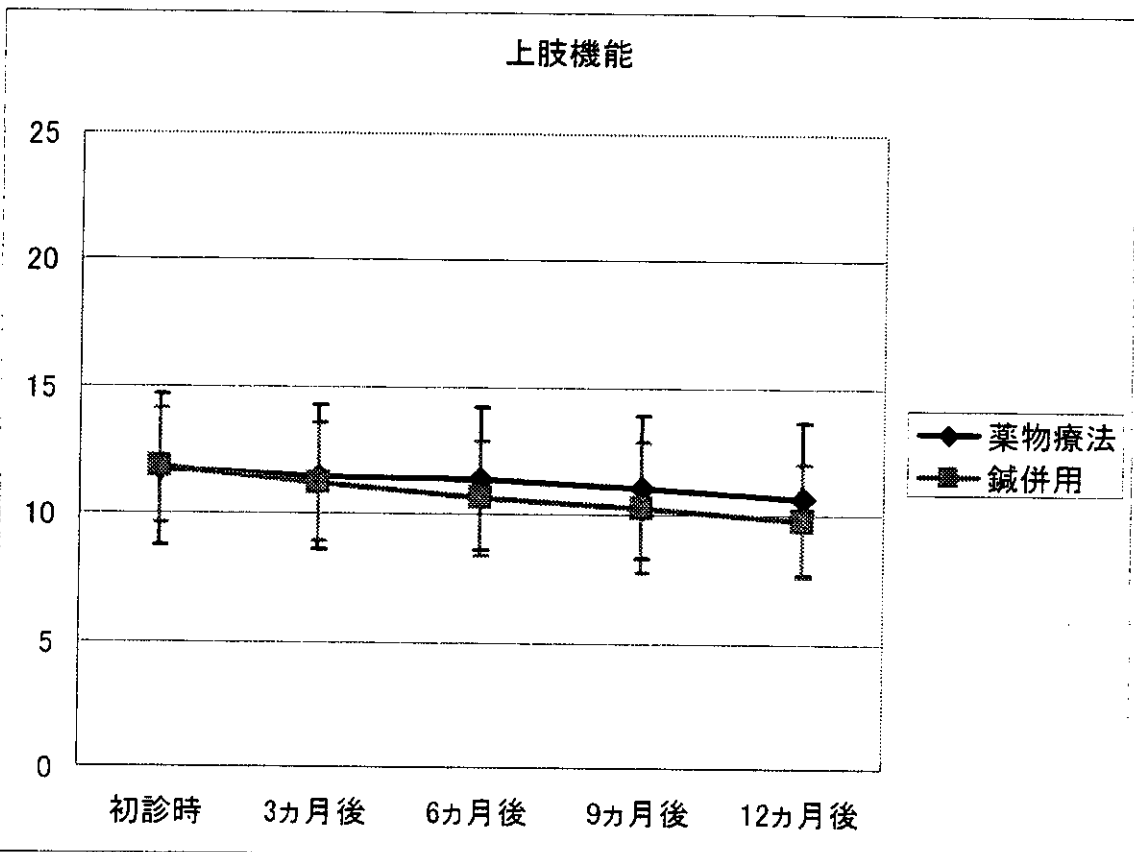
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	56.287	56.287	3.079	.0811	3.079	.398
対象 (群)	168	3070.971	18.280				
カテゴリ - 経過	4	249.924	62.481	16.277	<.0001	65.109	1.000
カテゴリ - 経過 * 群	4	33.147	8.287	2.159	.0721	8.635	.634
カテゴリ - 経過 * 対象 (群)	672	2579.507	3.839				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリ - 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	11.738	2.959	.331
薬物療法, 三ヵ月後	80	11.438	2.805	.314
薬物療法, 六ヵ月後	80	11.387	2.790	.312
薬物療法, 九ヵ月後	80	11.075	2.796	.313
薬物療法, 十二ヵ月後	80	10.663	2.998	.335
鍼併用, 開始時	90	11.856	2.251	.237
鍼併用, 三ヵ月後	90	11.211	2.320	.245
鍼併用, 六ヵ月後	90	10.622	2.246	.237
鍼併用, 九ヵ月後	90	10.289	2.554	.269
鍼併用, 十二ヵ月後	90	9.744	2.211	.233



資料 31

身の回り

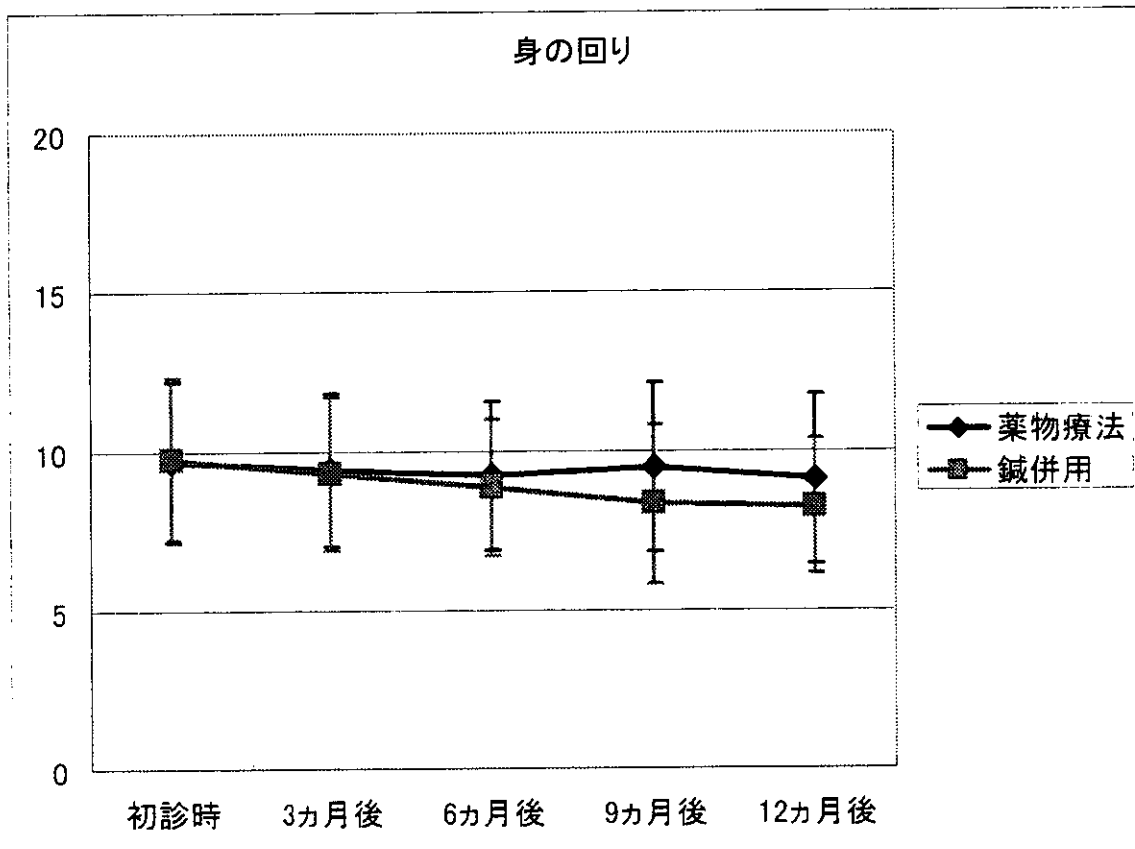
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	50.729	50.729	3.015	.0843	3.015	.390
対象 (群)	168	2826.541	16.825				
カテゴリー 経過	4	107.205	26.801	8.420	<.0001	33.678	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	45.224	11.306	3.552	.0070	14.207	.877
カテゴリー 経過 * 対象 (群)	672	2139.117	3.183				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	9.650	2.516	.281
薬物療法, 三ヵ月後	80	9.387	2.410	.269
薬物療法, 六ヵ月後	80	9.213	2.358	.264
薬物療法, 九ヵ月後	80	9.475	2.667	.298
薬物療法, 十二ヵ月後	80	9.100	2.661	.297
鍼併用, 開始時	90	9.733	2.556	.269
鍼併用, 三ヵ月後	90	9.256	2.392	.252
鍼併用, 六ヵ月後	90	8.844	2.141	.226
鍼併用, 九ヵ月後	90	8.311	2.502	.264
鍼併用, 十二ヵ月後	90	8.233	2.094	.221



資料 32

家事

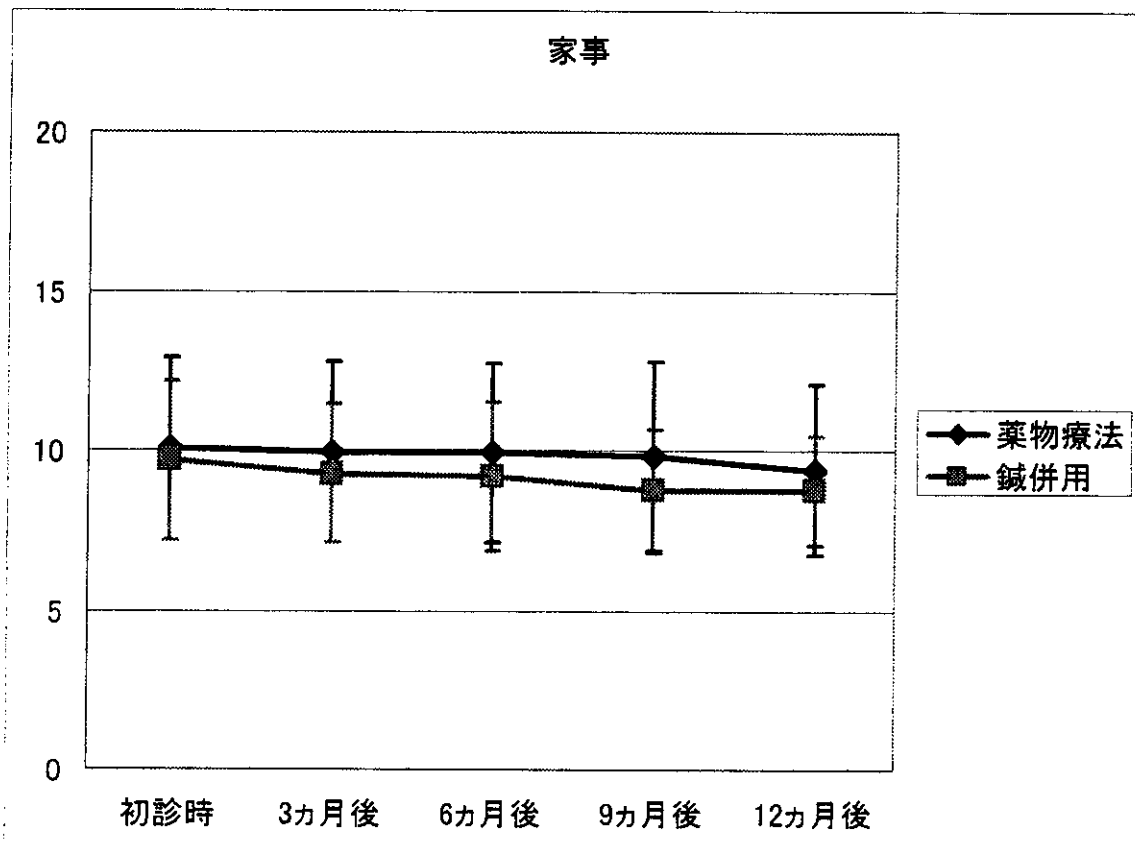
分散分析表：経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	108.007	108.007	5.381	.0216	5.381	.632
対象(群)	168	3372.318	20.073				
カテゴリー-経過	4	62.949	15.737	5.863	.0001	23.453	.989
カテゴリー-経過 * 群	4	11.260	2.815	1.049	.3811	4.195	.325
カテゴリー-経過 * 対象(群)	672	1803.698	2.684				

基本統計量：経過

効果：カテゴリー-経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	10.050	2.868	.321
薬物療法, 三ヵ月後	80	9.950	2.823	.316
薬物療法, 六ヵ月後	80	9.912	2.811	.314
薬物療法, 九ヵ月後	80	9.825	2.959	.331
薬物療法, 十二ヵ月後	80	9.400	2.651	.296
鍼併用, 開始時	90	9.667	2.472	.261
鍼併用, 三ヵ月後	90	9.267	2.161	.228
鍼併用, 六ヵ月後	90	9.167	2.319	.244
鍼併用, 九ヵ月後	90	8.722	1.920	.202
鍼併用, 十二ヵ月後	90	8.744	1.706	.180



資料 33

社交

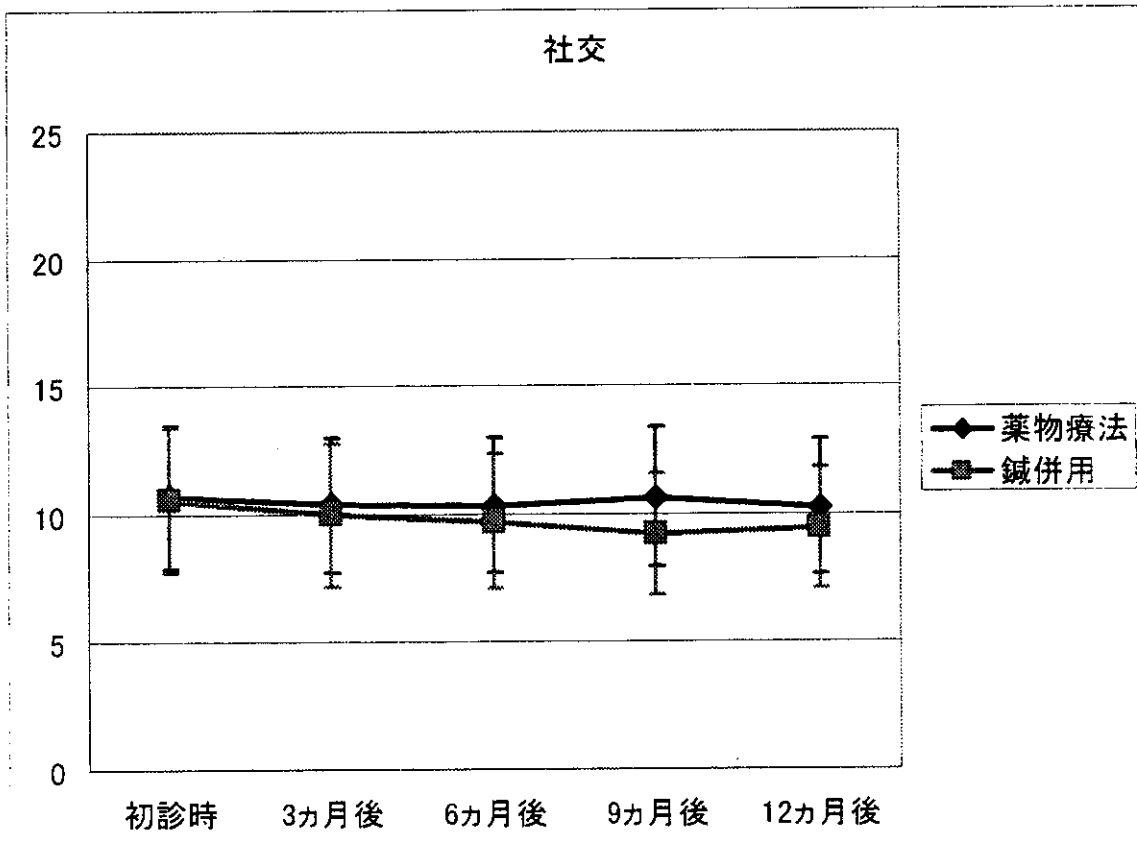
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	99.446	99.446	5.027	.0263	5.027	.600
対象 (群)	168	3323.255	19.781				
カテゴリー 経過	4	58.387	14.597	3.901	.0039	15.606	.911
カテゴリー 経過 * 群	4	41.879	10.470	2.798	.0253	11.194	.769
カテゴリー 経過 * 対象 (群)	672	2514.196	3.741				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	10.663	2.810	.314
薬物療法, 三ヵ月後	80	10.350	2.620	.293
薬物療法, 六ヵ月後	80	10.338	2.609	.292
薬物療法, 九ヵ月後	80	10.650	2.733	.306
薬物療法, 十二ヵ月後	80	10.238	2.635	.295
鍼併用, 開始時	90	10.511	2.825	.298
鍼併用, 三ヵ月後	90	9.967	2.778	.293
鍼併用, 六ヵ月後	90	9.689	2.638	.278
鍼併用, 九ヵ月後	90	9.189	2.331	.246
鍼併用, 十二ヵ月後	90	9.456	2.357	.248



資料 34

支援

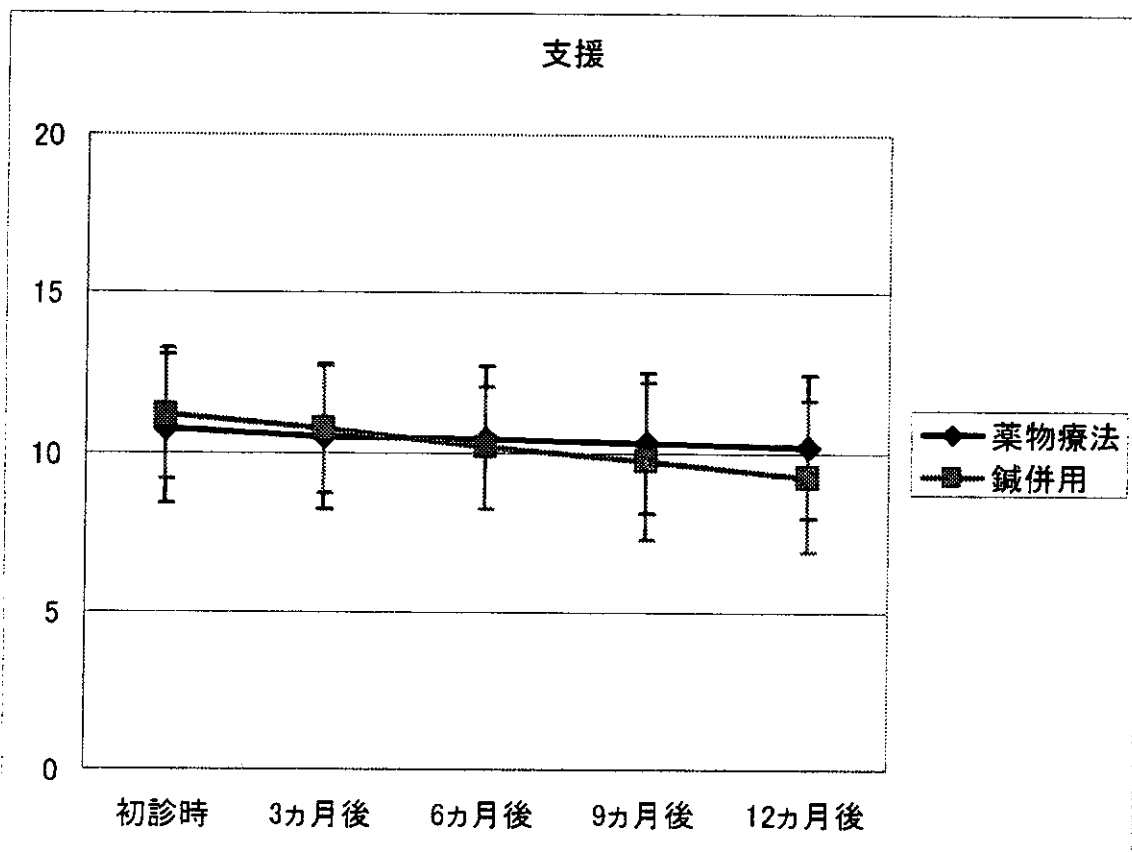
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	10.431	10.431	.811	.3692	.811	.139
対象(群)	168	2161.669	12.867				
カテゴリー 経過	4	157.426	39.357	13.585	<.0001	54.339	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	58.137	14.534	5.017	.0005	20.067	.972
カテゴリー 経過 * 対象(群)	672	1946.863	2.897				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	10.700	2.335	.261
薬物療法, 三ヵ月後	80	10.475	2.267	.253
薬物療法, 六ヵ月後	80	10.425	2.232	.250
薬物療法, 九ヵ月後	80	10.300	2.218	.248
薬物療法, 十二ヵ月後	80	10.188	2.234	.250
鍼併用, 開始時	90	11.189	2.071	.218
鍼併用, 三ヵ月後	90	10.700	1.980	.209
鍼併用, 六ヵ月後	90	10.133	1.921	.202
鍼併用, 九ヵ月後	90	9.722	2.459	.259
鍼併用, 十二ヵ月後	90	9.233	2.366	.249





資料 35

痛み

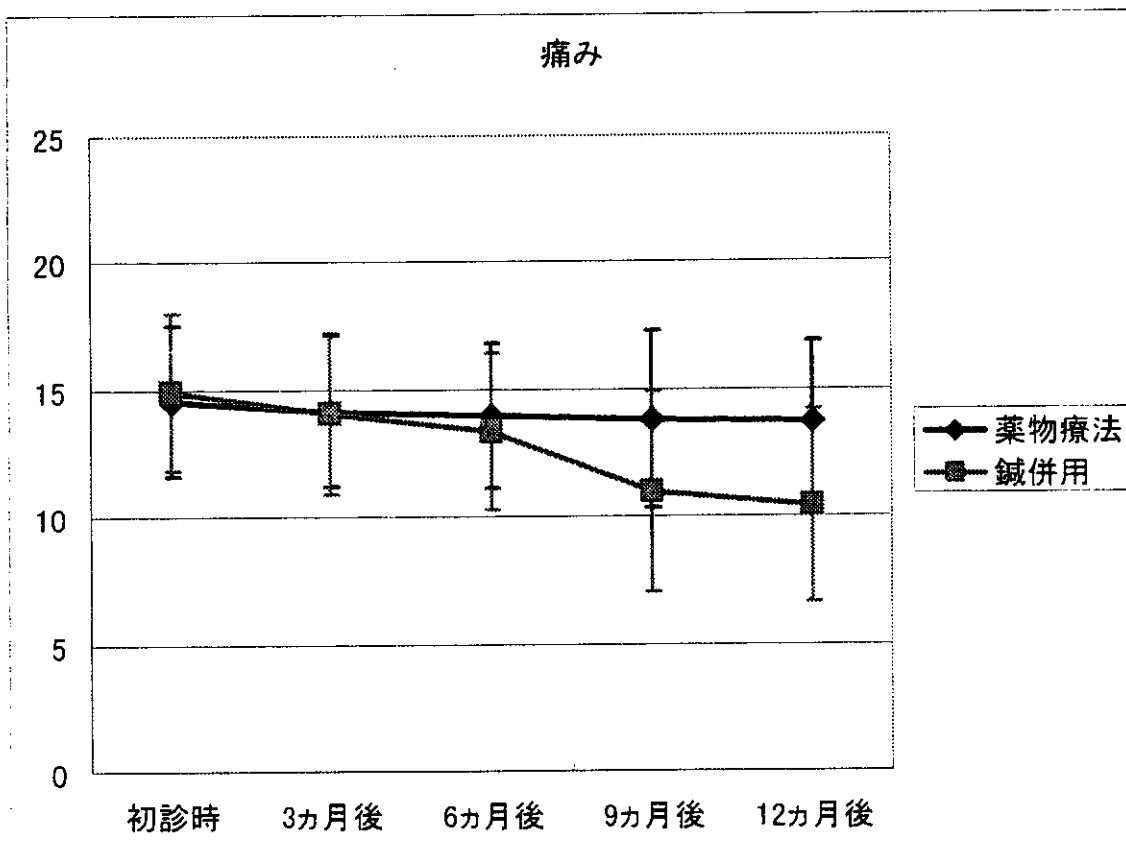
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	352.549	352.549	14.082	.0002	14.082	.977
対象(群)	168	4205.875	25.035				
カテゴリー 経過	4	855.095	213.774	30.162	<.0001	120.649	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	457.293	114.323	16.130	<.0001	64.521	1.000
カテゴリー 経過 * 対象(群)	672	4762.771	7.087				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	14.550	2.959	.331
薬物療法, 三ヶ月後	80	14.137	2.941	.329
薬物療法, 六ヶ月後	80	13.963	2.875	.321
薬物療法, 九ヶ月後	80	13.788	3.488	.390
薬物療法, 十二ヶ月後	80	13.725	3.138	.351
鍼併用, 開始時	90	14.900	3.047	.321
鍼併用, 三ヶ月後	90	14.044	3.137	.331
鍼併用, 六ヶ月後	90	13.333	3.083	.325
鍼併用, 九ヶ月後	90	10.989	3.933	.415
鍼併用, 十二ヶ月後	90	10.444	3.787	.399



資料 36

仕事

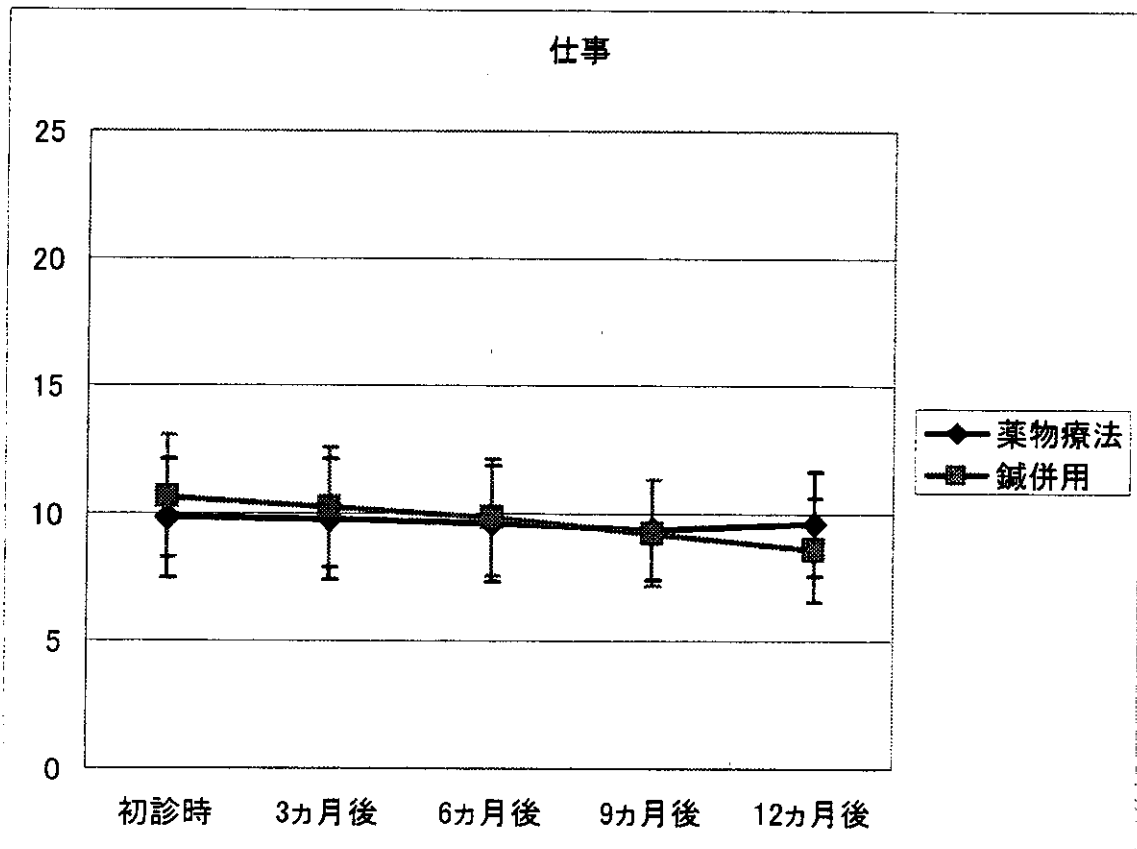
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	.879	.879	.063	.8026	.063	.057
対象 (群)	168	2357.431	14.032				
カテゴリー 経過	4	151.438	37.860	14.409	<.0001	57.636	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	88.963	22.241	8.465	<.0001	33.858	1.000
カテゴリー 経過 * 対象 (群)	672	1765.691	2.628				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	9.800	2.319	.259
薬物療法, 三ヵ月後	80	9.750	2.336	.261
薬物療法, 六ヵ月後	80	9.575	2.282	.255
薬物療法, 九ヵ月後	80	9.375	1.977	.221
薬物療法, 十二ヵ月後	80	9.600	2.035	.228
鍼併用, 開始時	90	10.622	2.406	.254
鍼併用, 三ヵ月後	90	10.222	2.341	.247
鍼併用, 六ヵ月後	90	9.822	2.291	.241
鍼併用, 九ヵ月後	90	9.222	2.060	.217
鍼併用, 十二ヵ月後	90	8.533	2.046	.216



資料 37

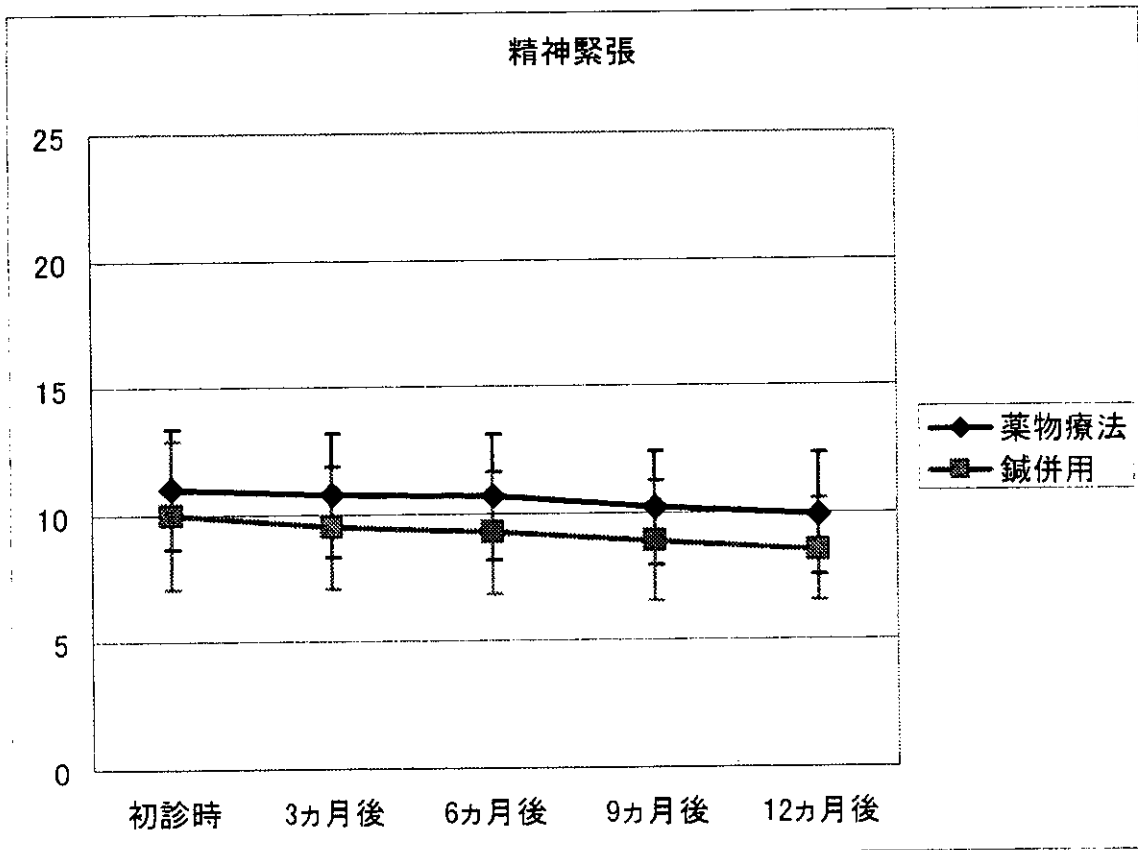
精神緊張

分散分析表：経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	350.125	350.125	22.186	<.0001	22.186	.999
対象(群)	168	2651.217	15.781				
カテゴリー 経過	4	171.364	42.841	12.945	<.0001	51.781	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	4.870	1.218	.368	.8316	1.472	.133
カテゴリー 経過 * 対象(群)	672	2223.923	3.309				

基本統計量：経過  
効果：カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	11.012	2.389	.267
薬物療法, 三ヵ月後	80	10.750	2.431	.272
薬物療法, 六ヵ月後	80	10.663	2.475	.277
薬物療法, 九ヵ月後	80	10.200	2.236	.250
薬物療法, 十二ヵ月後	80	9.938	2.399	.268
鍼併用, 開始時	90	10.000	2.915	.307
鍼併用, 三ヵ月後	90	9.500	2.400	.253
鍼併用, 六ヵ月後	90	9.256	2.392	.252
鍼併用, 九ヵ月後	90	8.878	2.341	.247
鍼併用, 十二ヵ月後	90	8.500	2.007	.212



資料 38 気分

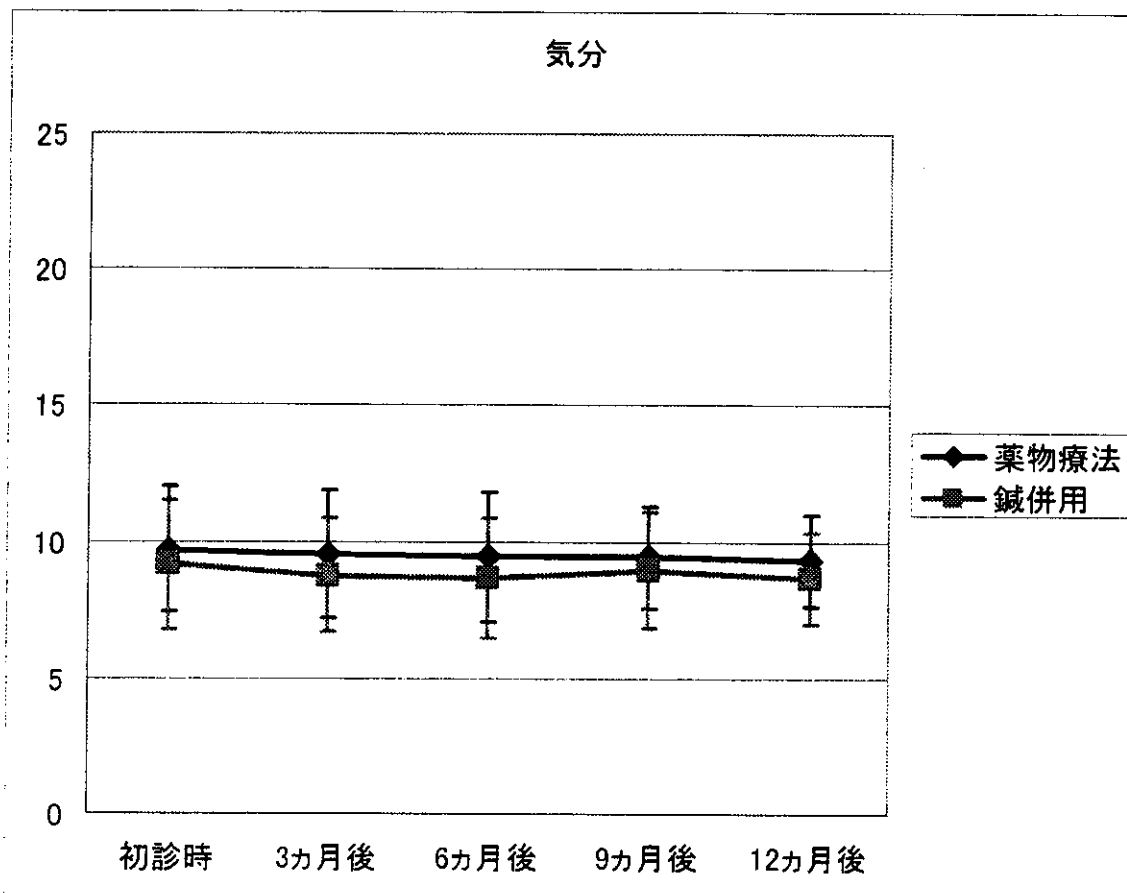
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	91.084	91.084	6.475	.0118	6.475	.720
対象(群)	168	2363.157	14.066				
カテゴリー-経過	4	18.400	4.600	2.132	.0753	8.527	.628
カテゴリー-経過 * 群	4	2.358	.589	.273	.8953	1.093	.110
カテゴリー-経過 * 対象(群)	672	1450.019	2.158				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー-経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	9.700	2.297	.257
薬物療法, 三ヵ月後	80	9.550	2.349	.263
薬物療法, 六ヵ月後	80	9.425	2.380	.266
薬物療法, 九ヵ月後	80	9.425	1.888	.211
薬物療法, 十二ヵ月後	80	9.313	1.711	.191
鍼併用, 開始時	90	9.133	2.404	.253
鍼併用, 三ヵ月後	90	8.756	2.095	.221
鍼併用, 六ヵ月後	90	8.678	2.197	.232
鍼併用, 九ヵ月後	90	8.911	2.129	.224
鍼併用, 十二ヵ月後	90	8.656	1.717	.181



資料 39

満足度

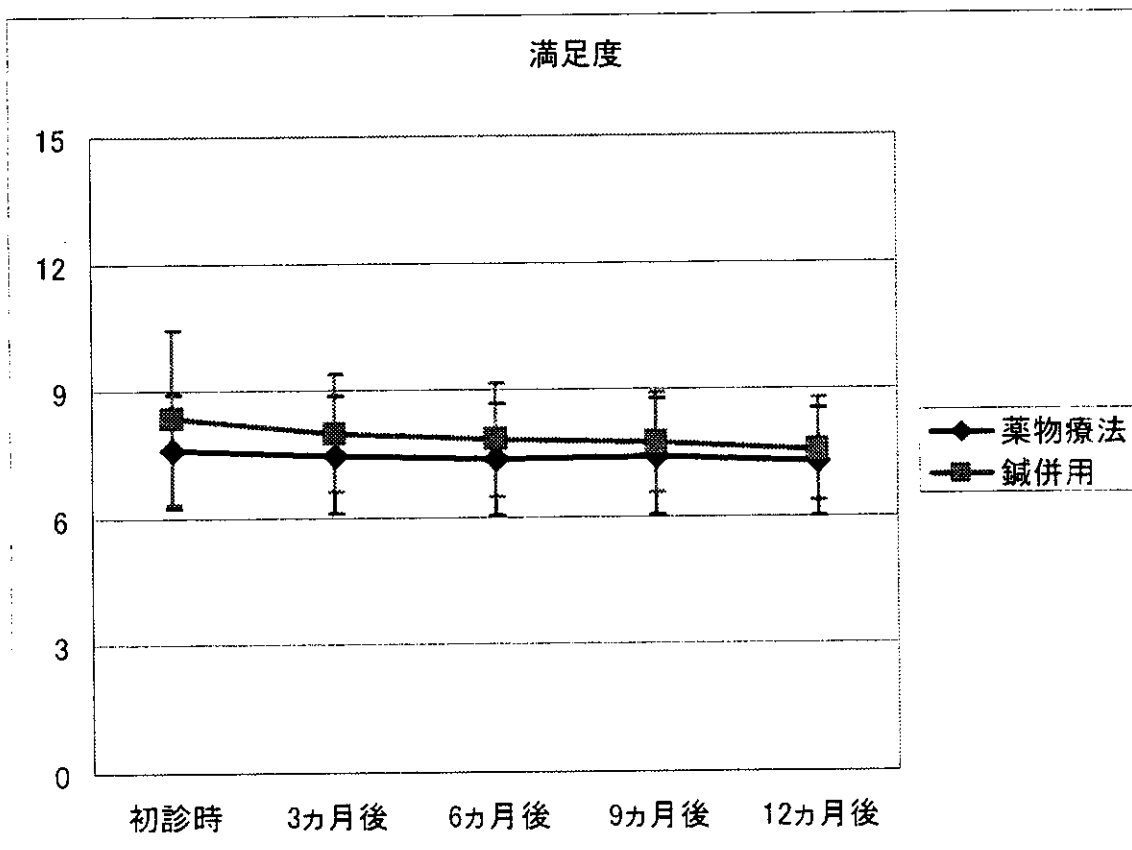
分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	47.556	47.556	8.753	.0035	8.753	.853
対象 (群)	168	912.754	5.433				
カテゴリー 経過	4	29.921	7.480	6.725	<.0001	26.901	.996
カテゴリー 経過 * 群	4	5.804	1.451	1.304	.2669	5.218	.401
カテゴリー 経過 * 対象 (群)	672	747.462	1.112				

基本統計量 : 経過

効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	7.588	1.347	.151
薬物療法, 三ヵ月後	80	7.463	1.387	.155
薬物療法, 六ヵ月後	80	7.362	1.305	.146
薬物療法, 九ヵ月後	80	7.412	1.366	.153
薬物療法, 十二ヵ月後	80	7.250	1.268	.142
鍼併用, 開始時	90	8.356	2.052	.216
鍼併用, 三ヵ月後	90	7.978	1.390	.147
鍼併用, 六ヵ月後	90	7.811	1.348	.142
鍼併用, 九ヵ月後	90	7.733	1.169	.123
鍼併用, 十二ヵ月後	90	7.567	1.190	.125



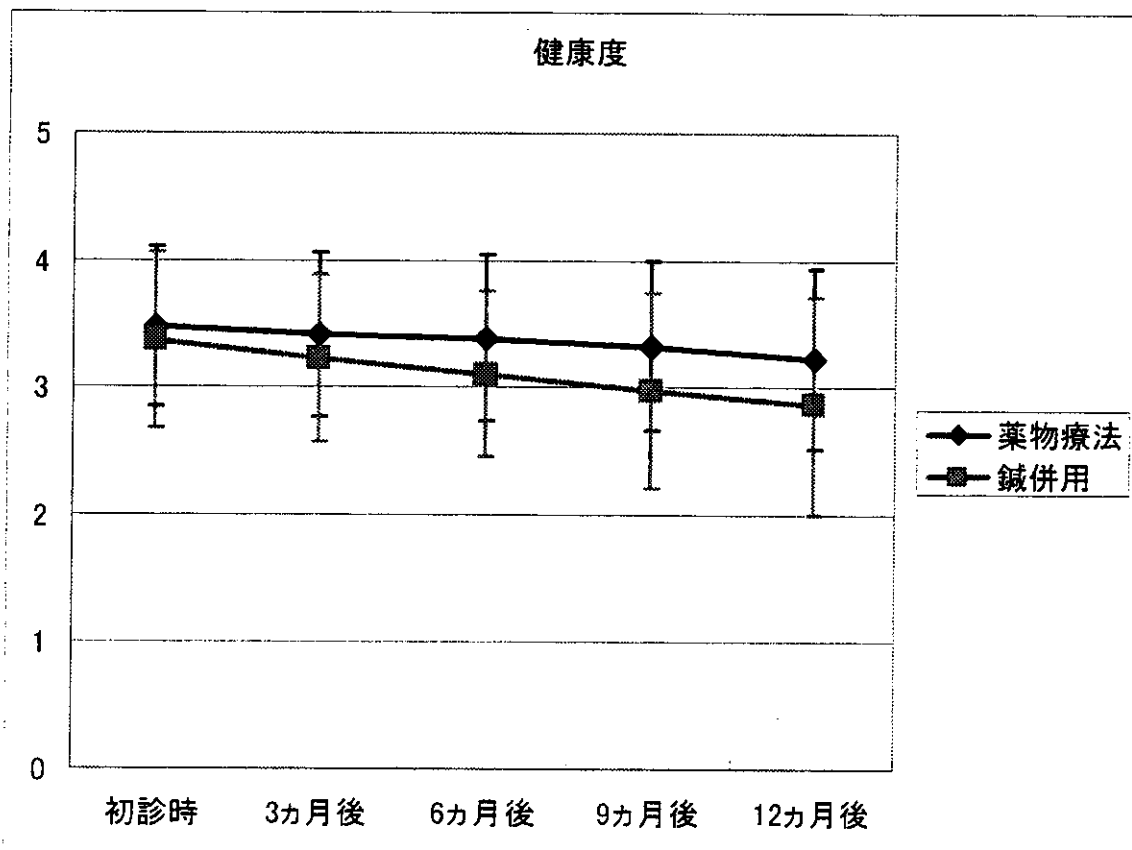
資料 40  
健康度

分散分析表 : 経過

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値	ラムダ	検出力
群	1	14.623	14.623	12.066	.0007	12.066	.951
対象 (群)	168	203.608	1.212				
カテゴリー 経過	4	14.781	3.695	11.893	<.0001	47.574	1.000
カテゴリー 経過 * 群	4	2.127	.532	1.712	.1456	6.847	.518
カテゴリー 経過 * 対象 (群)	672	208.795	.311				

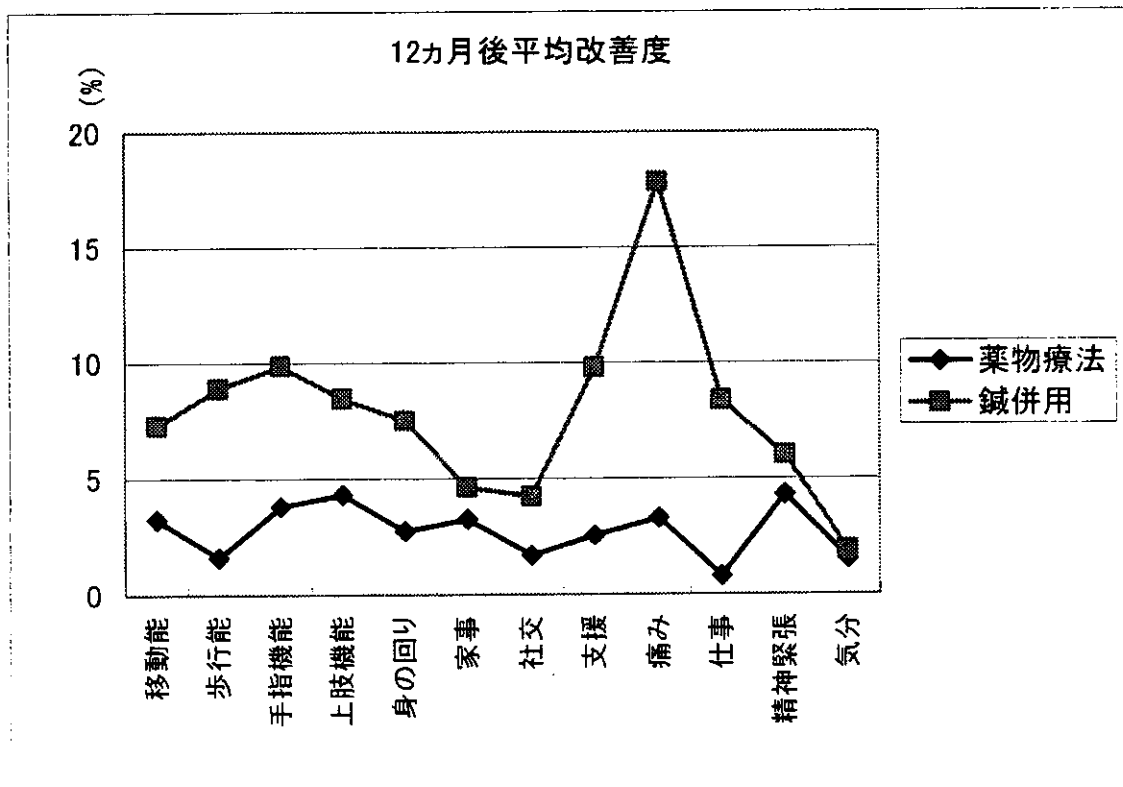
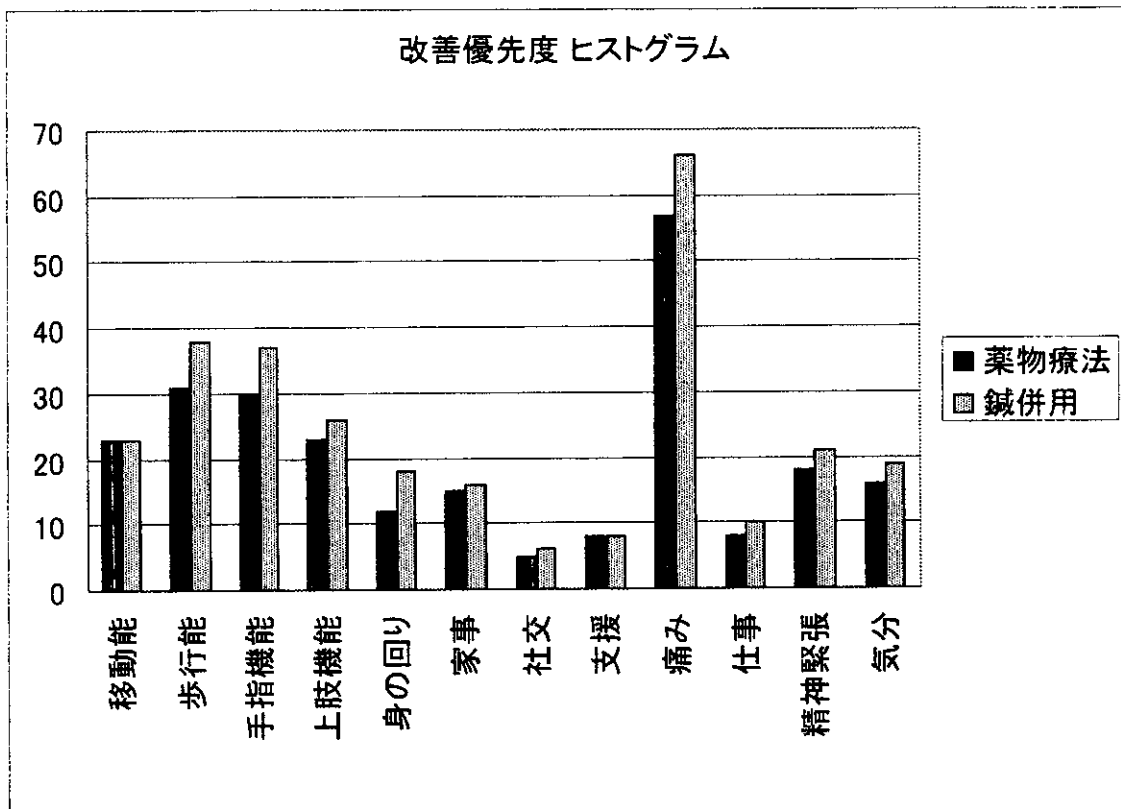
基本統計量 : 経過  
効果 : カテゴリー 経過 \* 群

	例数	平均値	標準偏差	標準誤差
薬物療法, 開始時	80	3.475	.636	.071
薬物療法, 三ヵ月後	80	3.413	.650	.073
薬物療法, 六ヵ月後	80	3.388	.646	.072
薬物療法, 九ヵ月後	80	3.325	.671	.075
薬物療法, 十二ヵ月後	80	3.225	.711	.080
鍼併用, 開始時	90	3.367	.694	.073
鍼併用, 三ヵ月後	90	3.222	.667	.070
鍼併用, 六ヵ月後	90	3.100	.654	.069
鍼併用, 九ヵ月後	90	2.967	.771	.081
鍼併用, 十二ヵ月後	90	2.856	.855	.090



資料 41

AIMS-2 改善度



#### IV. 研究成果の刊行に関する一覧表



Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

2002年 (雑誌)

著者名	論文題目	雑誌名	巻、頁、西暦
山本一彦	関節リウマチの診療	医道の日本	61(4):7-11,2002
山口智	関節リウマチに対する鍼灸治療の実際	医道の日本	61(4):16-23,2002
小俣浩	関節リウマチの背景因子と鍼灸治療効果	医道の日本	61(4):34-42,2002
赤尾清剛	関節リウマチの中医学的鍼灸治療	医道の日本	61(4):12-5,2002
吉川信	関節リウマチに対する鍼灸治療効果の検討 (1)	医道の日本	61(11):37-52,2002
吉川信	関節リウマチに対する鍼灸治療効果の検討 (2)	医道の日本	61(12):25-44,2002
細江久美子	鍼灸治療開始直後より改善がみられた 関節リウマチの1症例	日本鍼灸臨床懇話会	抄録集 2002
磯部秀之	鍼治療の脳血流に及ぼす影響	日本東洋医学会雑誌	53(6):204,2002
沢田哲治	関節リウマチへのアプローチ 関節炎重症例の薬物療法の実際	Medical Practice	19(7):1189-93,2002
粕谷大智	鍼灸治療が関節リウマチのQOLに及ぼす影響	医道の日本	61(4):24-33,2002
粕谷大智	関節リウマチに対する鍼治療 (第2報)	リウマチ	42(2):410,2002

2001年度

著者名	論文題目	雑誌名	巻、頁、西暦
浅岡俊之、鈴木輝彦	リウマチ性疾患に対する漢方治療	リウマチ科	25(1):61-7,2001
山口智、小俣浩、 鈴木輝彦	他より診療依頼があった患者の実態と 鍼灸治療効果について	日本東洋医学会雑誌	51(6):194,2001
小俣浩、山口智、 鈴木輝彦	低周波鍼通電刺激が外分泌腺量と 顔面部皮膚温度へ及ぼす影響について	Biomedical Thermology	21(1):17,2001
赤尾清剛、福原久義	慢性関節リウマチに対する漢方治療経験	漢方の臨床	48(6):770-9,2001
吉川信、代田文彦	慢性関節リウマチ患者に対する 鍼灸治療の効果の検討 (第3報)	日本東洋医学会雑誌	51(6):198,2001
磯部秀之	東洋医学的発想を生かした治療学 膠原病・リウマチ	JIM	11(3):257-61,2001
粕谷大智、山本一彦	慢性関節リウマチに対する鍼灸治療	リウマチ	41(2):503,2001
粕谷大智、山本一彦	慢性関節リウマチに対する鍼灸治療 (第2報)	全日本鍼灸学会雑誌	51(3):392,2001

2000年

代田文彦	これからの鍼灸のあり方	全日本鍼灸学会雑誌	50(4):622-61,2002
吉川信、代田文彦	関節リウマチに対する鍼灸治療効果（第2報）	日本東洋医学会雑誌	50(6):12,2002
鈴木輝彦	分類不能型膠原病	リウマチ科	23(1):85-90,2000
山口智、小俣浩 鈴木輝彦	下肢経穴刺激が自律神経に及ぼす影響	日本東洋医学会雑誌	50(6):179,2000

20020286

以降は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、  
P.81-P.82の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。